

2025/5/14

第1回 大学スポーツ構想会議

大学スポーツの今後の方向性
帝京大学 岩出雅之



スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

■大学スポーツにおける競技力向上の方向性はどうあるべきか

1. 競技力向上のための

- 各大学において、大学生のスポーツ活動を支える機能や組織をどのように充実していくべきか

2. HPSCの活用

- HPSCの有する医・科学的な知見やノウハウを各大学のスポーツ活動の現場で活用しやすくするための方策について
- 大学スポーツの国際・国内競技大会の在り方について

大学スポーツの目的は 競技力の向上だけでなく

- ・ 学生の人間的成長
- ・ 大学の活性化
- ・ 地域社会とのつながり等

多面的な価値創出にあり

学生のキャンパスライフの充実
大学の持続的な発展・ブランド力向上



SUPPORT

スポーツへの導き

安心安全なスポーツ活動を目指し、
スポーツ局を中心にさまざま支援を実施しています。



キャンパスライフの充実

学生のスポーツ活動を支えるためには
どのような組織や機能が必要か

1 ADの設置の背景

2 主な機能

3 現状の体制

1 ADの設置の背景

- 1 **ガバナンス強化・安全・安心な環境整備**
- 2 学生アスリートの支援
- 3 スポーツ医科学の活用
- 4 地域連携(社会貢献)
- 5 スポーツの価値向上、

学生のキャンパスライ充実
大学の持続的な発展
大学のブランド力向上

Q. 2023/5/14AD設置の背景(必要性)と主な機能

7

従来、大学の運動部活動は課外活動として位置づけられ(放任)、大学の直接的な関与が限定的で指導者の雇用や運営がOB会などに依存し、大学としての統制が難しい状況が生じていた。

1. ガバナンスの強化と透明性の確保 安全・安心な環境の整備

運動部活動の統括管理が可能となり、指導者の人事や資質向上、会計の透明性確保、危機管理体制の構築等組織運営の健全化を図る。

ハラスメント防止など、学生が安心安全なスポーツ活動ができる環境の整備。

2. 学業支援とキャリア形成

学生アスリートが学業とスポーツを両立できる環境を整備し、キャリア支援やメンタルヘルスケアなどをサポート等より、学生のキャンパスライフの充実や卒業後の進路支援が強化される。

3. スポーツ医科学の活用

スポーツ医科学の知見を活用し、スポーツ事故防止や健康管理、その上で競技力の向上

4. 大学スポーツの価値向上と地域連携の促進

大学スポーツの情報や魅力の発信、地域社会との連携や社会貢献活動を推進し、学生の充実したキャンパスライフの実現を図り、大学の持続的な発展に繋げる。

2 主な機能

3 体制

2025/5/14

8

継続的な成果を目指す戦略的支援
(強化方針の制定、環境整備)

教育力を高める指導者研修
(指導者研修等)

科学的根拠で競技力を向上
(スポーツ医科学センターとの連携)

健康管理・予防・早期回復支援
(スポーツ医科学クリニックの利用)

健全な部活動運営の実現
(運動部評価・各種手引き)

安心して活動できる環境整備
(クラブ員研修・緊急時対応マニュアル)

競技力

指導者育成

スポーツ科学
支援

スポーツ医学支援

ガバナンス・コンプライアンス

安全・安心

一般運動部

強化運動部

帝京大学スポーツ局の運動部支援 (教育・企画管理)

2. HPSCの活用

- HPSCの有する医・科学的な知見やノウハウを各大学のス
ポーツ活動の現場で活用しやすくするための方策について

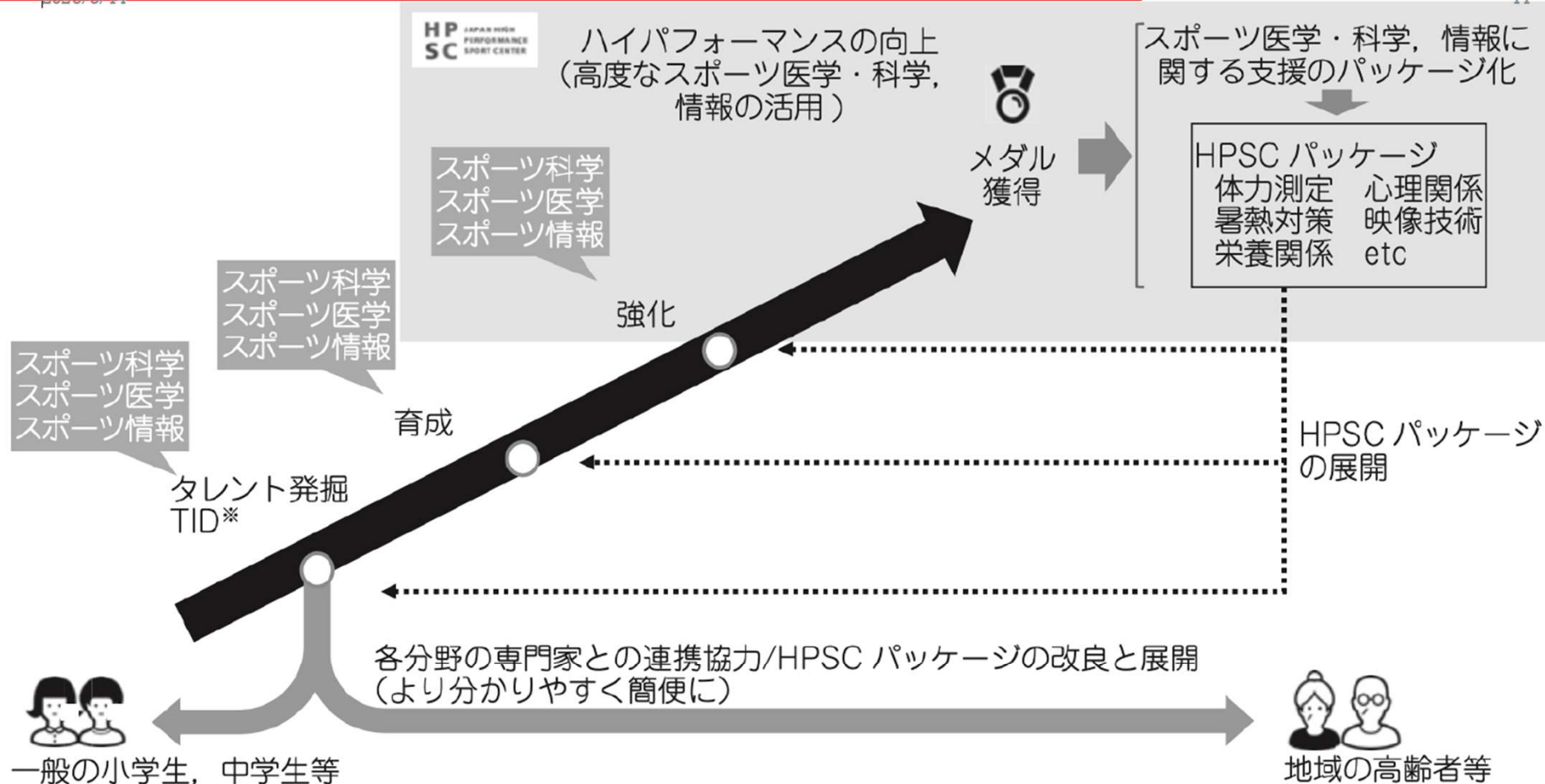
ハイパフォーマンススポーツから ライフパフォーマンスへ

ライフパフォーマンス : 健康、生活習慣、思考習慣を整え、自分らしく最大限の力を発揮すること

Beyond 2020+1 ハイパフォーマンススポーツからライフパフォーマンスへ

2025/5/14

11



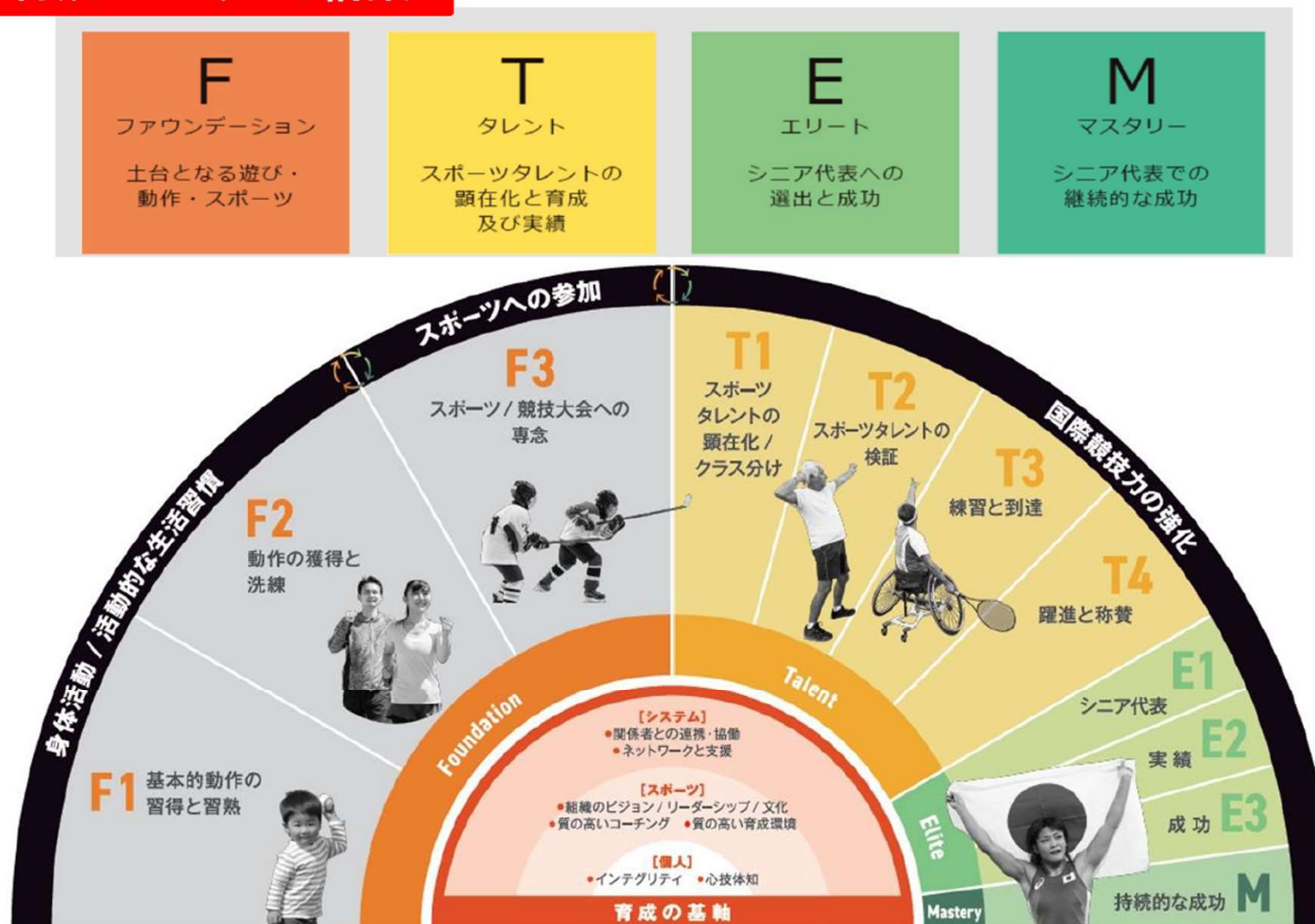
※Talent Identification and Development

(久木留,2022)

アスリート育成 パスウェイ構築

2025/5/14

12



出典: 独立行政法人日本スポーツ振興センター ウェブサイト (<https://pathway.jpnsport.go.jp/fitem/index.html>)

大学スポーツの競技力強化の現状

- ✓ 地域・競技・育成段階の連携不足
- ✓ 医科学支援等の体制の地域格差

【1】縦断的アスリート育成体制の構築

- ・大学を軸にした高校～代表までの一貫育成パスウェイを構築
- ・「大学版育成パスウェイガイドライン」策定とHPM(ハイパフォーマンス責任者)の配置
- ・指導者・支援者が共通認識を持てる連携機構の整備

【2】横断的地域連携の強化

- ・大学＋自治体＋企業＋NFによる「地域スポーツコンソーシアム」の設置
- ・大学施設を地域ジュニアやパラ競技にも開放
- ・「地域共創型トレーニング拠点」としての大学機能拡張

【3】スポーツ医・科学支援の体系化

- ・各大学に「スポーツパフォーマンスセンター」設置(HPSC連携)
- ・学際的支援チームによるコンディショニング支援
- ・トレーナー育成と学生への教育機会提供

【4】アスリートの持続可能な活動環境整備

- ・競技・学業・キャリア両立支援制度の整備
- ・アスリート・ウェルビーイング施策(心理・誹謗中傷・妊娠出産支援等)
- ・オンライン・プラットフォームによる情報発信・共有

【5】大学スポーツ改革と強化戦略の推進

- ・NF主導の「大学スポーツ強化計画」の作成
- ・スポーツ庁・UNIVASによる強化型認定制度の導入
- ・意欲のある大学に重点的支援(資金・人材・施設)

大学スポーツにおける競技力の向上と、学生アスリートの健全な成長を支援する体制の構築

1. 各大学に「**スポーツパフォーマンスセンター(SPC)**」の設置とHPSCとの連携

大学内にSPCを設置し、HPSCとの連携を図ることで、以下のような効果を期待

- ・ **科学的トレーニングの導入**: HPSCの知見を活用し最新のトレーニング手法やコンディショニング技術の導入
- ・ **データ分析によるパフォーマンス向上**: トレーニングデータや試合データを分析し、選手に最適なプラン提供
- ・ **研究と実践の融合**: 大学の研究者とHPSCの専門家が共同で研究を行い、その成果を実践に反映

2. 学際的支援チームによるコンディショニング支援

スポーツ医・科学の専門チーム（医師、理学療法士、栄養士、心理士など）による学際的支援

- ・ **包括的な健康管理**: 定期的な健康チェックやメンタルヘルスサポートを提供し、アスリートの健康を維持
- ・ **個別対応のリハビリテーション**: 怪我選手に対して、個別のリハビリプログラムを提供し、早期復帰を支援
- ・ **栄養指導と食事管理**: 競技特性に応じた栄養指導を行い、パフォーマンス向上を図る

3. トレーナー育成と学生への教育機会提供

将来的なスポーツ支援人材を育成するため教育機会を提供

- ・ **実践的な研修プログラム**: 学生が実際のスポーツ現場でトレーナーとしての経験を積むことができる研修実施
- ・ **資格取得支援**: ATやフィットネスインストラクターなどの資格取得を支援し、キャリアパスを明確にする
- ・ **学術的な教育カリキュラム**: スポーツ医・科学に関する講義やセミナーを開講し、理論的な知識の提供

帝京大学スポーツ医科学センター



うちかつ強さを

TEIKYO UNIVERSITY INST.
Sports Science & Medicine





Teikyo Athlete Support Knowledge

HPSCパッケージの紹介(2024年11月時点14種類)

栄養

講習会(座学)形式

- ① アスリートのための食事の基本
すべての栄養パッケージの基本となる内容の講習会
- ② アスリートのための食事の基本ジュニア版
小学5年生～中学3年生向けの講習会(基礎編・実践編)
- ③ アスリートのための貧血予防
貧血予防に関わる栄養分野からの内容をまとめた講習会
- ④ アスリートのための水分摂取・脱水対策
水分摂取の必要性和脱水対策に関する講習会
- ⑤ アスリートのためのウエイトコントロール
競技特性等に応じた体重調整のための基本的な考え方から実践方法までをまとめた講習会
- ⑥ アスリートのための遠征時の食事
遠征時(海外・国内)の移動や、遠征先での食環境に対応するポイントをまとめた講習会
- ⑦ アスリートのための試合期の食事
試合にベストコンディションで臨むために必要な食事や補食のとり方のポイントをまとめた講習会



★講師は「公認スポーツ栄養士」資格保有者

心理

講習会(座学)形式

- ⑧ メンタルトレーニング(基礎編)
- ⑨ メンタルトレーニング(応用編)



11のトピック(基礎編:3トピック、応用編:8トピック)により、メンタルトレーニング技法を網羅的・総合的に身につける講習会

講習会(実技)形式



- ⑩ チームビルディング
ポッチャ競技を用いたスポーツ心理学に基づくチームビルディング講習会

★講師は「スポーツメンタルトレーニング指導士」資格保有者

体力測定

登録者による支援・サポート形式

- ⑪ JISSフィットネスチェック



JISSの体力測定(形態・筋力・身体組成・有酸素性能力)の各手法を身に付ける研修(実技及び座学)

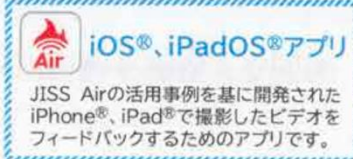
映像・情報技術

登録者による支援・サポート形式

- ⑫ JISS Air



ビデオカメラでアスリートを撮影し、映像を自動圧縮し、PC・タブレット等へ即時に転送するシステムです



JISS Airの活用事例を基に開発されたiPhone®、iPad®で撮影したビデオをフィードバックするためのアプリです。

- ⑬ JISS strobo



カメラで撮影した映像を連続写真に変換できるアプリケーション

★登録者は競技団体に所属するアスリートに対して、映像/情報技術サポートを行う者

スポーツ外傷・障害予防

登録者による支援・サポート形式

- ⑭ 姿勢チェック(FAAB)



アスリートを3方向(前又は後、側方、上方)から同時にカメラ撮影し、姿勢や動作をチェック・分析するアプリケーション

★登録者はアスレティックトレーナー等の有資格者

➤ 帝京大学のスポーツを強くする

運動部所属アスリートに最新のスポーツ医科学的サポートを行い、パフォーマンス向上に寄与する。

➤ 日本のスポーツを強くする

センターのサービスを全てのアスリートやスポーツサポート業界に提供し、日本のスポーツを強くする。

➤ スポーツの力で日本を豊かにする

スポーツの価値・魅力を全ての人が享受することで、豊かな日本の形成に寄与する。

ご清聴ありがとうございました